

- 国家斉唱 「君が代」
- ロータリーソング 「奉仕の理想」
- 会長の時間 松浦会長

2018年1月1日入会となりますので、本日「奉仕活動集会」の場で入会式を行います。

●新入会員入会式

1979年、ポップ・マーリーのコンサートを聴き魅了され、1980年独立の式典に国賓としてポップ・マーリーを招いた新生国「ジンバブエ」に関心を寄せ、1986年に移住。

1992年、ジャナグルアートセンターを設立。ストリートキッズを招待して食べて歌い踊るパーティー、日本の友人の協力を得、地雷の被害者支援、アフリカの暮らしを描き絵はがきにして販売し就学な困難な児童の学費に充てるなどの活動も行っている。日本の学校、施設などで、ジンバブエの今、学校、文化などをテーマに講演。(ジンバブエHPより抜粋)



高橋 朋子新入会員

●幹事報告 石川幹事

●来週12日(金)は休会ですが、「理事会」は開催いたしますので各理事・役員の方は12日の「理事会」ご出席のほどお願い致します。翌週19日(金)はクラブフォーラムですので各理事・委員長さんから事業計画の状況報告をお願い致します。

●盛会員のご厚意によりメールボックスに「期末家族懇親会のスナップ写真」入れておきましたのでご確認ください。

●メーキャップ受付

◆12月29日(金)

久末 智章氏、渋谷 繁男氏、松田 雅伸氏、平松 正人氏、宮本 孝雄氏、船山 秀樹氏 (小樽RC)

◆2018年1月5日(金)

山田 雅敏氏、平松 正人氏、船山 秀樹氏、久末 智章氏、渋谷 繁男氏、佐々木 一晃氏 (小樽RC)

◆2018年1月12日(金)分

久末 智章氏、松永 吉弘氏、江川 栄一氏、渋谷 繁男氏、佐々木 一晃氏、平松 正人氏 (小樽RC)

1月理事会 議事録

日時：平成30年1月12日(金)18時00分
会場：ニュー三幸

<p>1. 開会</p> <p>日時：3月30日(金)12時30分 担当：職業奉仕委員会</p>	<p>4. 報告事項</p> <p>1) 退会会員について 大黒屋 宏章 様 逝去に伴い</p> <p>2) 新入会員承認について 高橋 朋子 様 平成30年1月1日入会 1月5日集会で挨拶</p> <p>3) 酒田RC訪問について 訪問報告を2月16日の集会を変更し例会で行う。(見延会員)</p> <p>4) 京都RC訪問(3月)の件 日程は3月13日～15日 14日の例会出席。 宿泊、などは参加会員の選択とする</p> <p>5) 「第20回小樽雪あかりの路」への後援、協賛について 募金の件、実行委員会来訪の件 1月第二例会 1月26日 日程の関係上他の例会日がないこともあり 承認</p>
<p>2. 審議事項</p> <p>1) 例会プログラムについて 承認</p> <p>①2月第一例会 日時：2月2日(金)12時30分 内容：干支会員卓話 阿部会員・鈴木会員</p> <p>②2月第三回例会 承認 日時：2月16日(金)12時30分 内容：酒田RC 訪問報告 姉妹交流委員 見延庄三郎</p> <p>③2月第四例会(2月23日の振替) 承認 日時：2月24日(土)15時30分登録開始 16時点鐘 内容：3クラブ合同例会「小樽RCが出来た頃(仮題)」 講師：石川 直章氏(小樽博物館館長) 登録料10,000円 5,000円をクラブ負担</p> <p>2) 休会 3月23日(金) 承認 クラブ定款第8条 第1節Cにより休会にしたい</p>	<p>5. その他</p> <p>1) 次回2月理事会の開催日について(2月2日) 了解</p> <p>2) 期末例会は6月21日(休)18時 朝里クラッセホテル 承認</p> <p>3) 廣瀬会員からの意見書について(齊田理事、岡崎理事)意見： 今年度は通常例会が少ないのでクラブ内に不満があるようです。例会数が少ないのなら会費を上げてほしいとの意見もあるようです。 理事会見解： 本年度はクラブ会則第5条会合、第2節により、休会とする旨理事会決定。アンケートにより月4回例会希望と、月2～3回例会希望の会員の要望を配慮し、月4回例会希望者に対し休会日を“集会”としてメーキャップ扱いとしました。例会数や奉仕活動集会は結果をまとめて次年度へ引き継ぐ事項とする。</p>
<p>3. 協議事項</p> <p>1) 例会プログラムについて 例会担当の社会奉仕、職業奉仕委員会に例会運営委員会から再度依頼する。</p> <p>①3月第一例会 日時：3月2日(金)12時30分 担当：例会運営委員会</p> <p>②3月第二例会 日時：3月9日(金)12時30分 担当：社会奉仕委員会</p> <p>③3月第三例会 日時：3月16日(金)12時30分 会場：ゴールドストーン 担当：例会運営委員会</p> <p>④3月第四例会</p>	

国際ロータリー 第2510地区 日本 The Rotary Club of Otaru South. District No.2510

Rotary 小樽南ロータリークラブ会報

Club Homepage URL <http://rid2510.org/otarusouth/>

●例会場/ニュー三幸 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂1-3-6 ☎0134-33-3500

19

2018年1月19日(金)発行
通巻 第2814号

1960年創立
昭和35年2月5日

●本日1月19日(金)のプログラム

◎クラブフォーラム

●来週1月26日(金)のプログラム

◎PM12:30～移動例会 会場：オーセント小樽
「新技術の到来により平均寿命100歳出現が視野に！」
スピーカー：内山田 徹氏(野村證券札幌支店 次長)

●再来週2月2日(金)のプログラム

◎プログラム「干支会員卓話」
阿部会員・鈴木会員

●2017-2018年度 IRテーマ

ロータリー：変化をもたらす
2017-2018年度会長
イアン H.S. ライズリー

●2017-2018 地区目標

- 会員増強の推進
- 情報の共有
- 環境保護の取り組み
- ロータリー財団寄付を、5%増加に向け取り組む

●第18回例会報告 12月15日(金) 年末家族会 ゴールドストーン(渋澤倉庫)

年末家族懇親会

2017年12月15日(金) 於 ゴールドストーン

乾杯!!

佐藤(友)親睦委員長
開会挨拶



さー！手に手をつないで！！



2017年12月23日(土)



年頭によせて

2018年年頭のご挨拶を致します。私は1945年12月に小樽で生まれました。終戦の年でした。年少期のころは、冬は板張り家でストーブの周辺だけが温かく、大吹雪のときは、小学校が休校になりました。冬は雪が多く非常に寒かった生活を思い出します。小樽は映画館が多く、欧米の映画を見ると非常に豊かで羨ましく思いました。経済の高度成長期があり、日本も豊になりました。又気が付いたら世界でも長寿の国の一つになりました。

昨年度、将棋界では、14歳の中学生のプロが29連勝しました。彼は詰将棋とコンピューターソフトとの対局を通し判断を養ったと聞いています。コンピューター将棋ソフト(ポナンザ)がプロ棋士相手に連勝し、チェスでは世界王者を負かすコンピューターソフトが開発されています。(ディープラーニング)。AI (artificial intelligence) 人工知能を利用した車の運転を完全に任せるシステムの実用化も近いうちに実現される時代になりました。

シンギュラリティとは人工知能が人間を完全に超越することが起こりえる様々な事態を指します。又量子コンピューターが実現したことにより人工知能はより高度化して行きます。

今までの古典コンピューターの10倍から100倍ぐらいの処理能力を有していると言われています。然しながら、コンピューターによる判断は累積した記録から計算された確率的判断であり、これは人間の命令により行われるものです。人工知能が人間を超越した事態が起こるとしても、シンギュラリティにより、人間の能力も大きく底上げされ、新たな進化を遂げることになると考えられます。

私たちロータリアンは、100年を超えて活動をしてきております。また当クラブは創立58年目の活動中です。このような社会の進化に対し変化を恐れず対応策を考え、新しい判断を検索して行かねばなりません。


本日は道新の新年交流会と聞いています。会員の中には新年の挨拶周りの方のいらっしゃると思います。

本日例会はお休みに集会ですでお休みすることができます。昨年のノーベル文学賞を受賞されたカズオ・石黒さんの受賞記念講演の要旨のなかで、世界全体を適切な状態にすることは難しい。だがせめて自分たちの小さな「文学」という世界の一角について考えよう。我々はもっと多様になる必要がある。と述べられています。私たちロータリークラブに当てはめれば、クラブ活動において、従来の慣習について、時代に即応した多様になる必要があると考えます。又、12月の理事会で検討しておりました姉妹クラブの酒田RCへの訪問を新年の挨拶を兼ね、1月16・17日に行ってみます。先方のクラブの状況及び考え方をお聞きしてまいりたいと考えております。

浄土真宗の僧侶である私は十干十二支を日常生活の依りどころとしておりませんので、これを機縁にその意味を調べました。十干は木の幹が語源で甲乙丙丁等の10の要素で数を表す語で、干支は木の枝が語源で十二支に動物の名前が当てはめられ、2つの組み合わせの合計が60を周期として暦、カレンダー、時間・方向の良し悪しと生まれ年を表す方法として活用されてきました。私は平成の元号最後の年、還暦60歳を迎えました。生まれ年に戻るを意味します。還暦の意味を調べている最中、長女からラインがきました。新しい命を授かったという連絡でした。まだ安心は出来ませんが新たな命が生まれていく事を念じつつ、あ、干支が一緒だと喜んでしまいました。

さて、清水寺の森貫主が揮毫された昨年一年の世相を表す漢字一字は「北」でした。まさに北朝鮮のミサイル、核・Jアラート・木造船漂流など世間を騒がせました。会員の皆さんの昨年の一字は如何でしたか。私の一字も北海道小樽別院のご縁を頂く「北」でした。この北の語源を伺いますと「2人が背中合わせになり、相背ける」という意味があります。私は昨年どのようなことに背を向けたか確認を行いたいとおもいます。

過日、妻から友人の闘病生活の話が聞きました。入院一カ月後に「脳腫瘍」ですという突然の癌宣告、治療中の最中にご主人もカテーテル手術で同じ病院に入院と、なぜ家だけがという思いが起り、心が迷いながらも、今は朝起きると今日も目があいて、生きていくことが有り難いといつどうなるかわからない人生、半身不随にならずとも動ける体に感謝、頑張らずゆっくり進みます、と妻にラインが送信されてきました。「長く生きるこの出来る私が死ぬのではなく」、「必ず死すべき私が今生かされている」といういのちの温もりに出遇わせて頂いたラインでした。新しい年の始まりを「今日一日こそわが一生」と頂き、精一杯この1年努めていきたい思います。



芝原 文雄 会員

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと拝察致します。本年の「干支」である戌年生まれの方が卓話を行うことが慣例となっており、このたびご指名を頂きました。

年男卓話